回　覧

# 新庄市小中一貫教育通信　第47号

令和８年　６月２５日　新庄市教育委員会

## 9年間の学びをつなぎ、地域とともに子どもたちの成長を支える

### ～新庄市の小中一貫教育のさらなる充実に向けて～

今年度も新庄市では、学校・家庭・地域が一体となり、子どもたちの成長を支える「小中一貫教育」を推進していきます。本市の小中一貫教育は、小学校６年間と中学校３年間を別々のものとして考えるのではなく、９年間を一つの学びのつながりとして捉え、子どもたちの成長を支える取組です。

小学校と中学校が目指す子どもの姿を共有し、学校同士がつながることで、子どもたちが安心して学び、地域の中で成長していける環境づくりを進めています。

## １　９年間のつながりが生み出す学び

小中一貫教育では、９年間を見通した教育活動を大切にしています。

- ○ 小中学校の教職員が目指す姿を共有する
- ○ 学習内容のつながりを意識した授業づくりを進める
- ○ 子どもの成長や課題を継続して支える
- ○ 小学校から中学校への円滑な接続を図る

学年が上がる中でも、子どもたちが安心して学び、自分の力を伸ばしていけるよう取り組んでいます。

## ２　小中一貫教育で大切にしていること

小中一貫教育のよさは、学習だけではありません。子ども同士、教職員同士、そして地域との「つながり」を生かした教育活動を進めています。

- ○ 異学年交流による豊かな人間関係づくり
- ○ 小学生と中学生が関わる活動
- ○ 地域の方から学ぶ「ふるさと学習」
- ○ 小中合同での研修や授業改善

様々な人との関わりを通して、思いやりの心や社会性を育て、地域を大切に思う気持ちを育んでいきます。

## 3　義務教育学校の取組から見えてきた成果

市内の義務教育学校では、１年生から９年生までが同じ学校で生活する特色を生かし、小中一貫教育のよさがさらに発揮されています。昨年度は、明倫学園、萩野学園の成果検証を行い、異学年の関わりや先生同士の連携、９年間のつながりが、学校文化としてしっかり根づいていることが明らかになりました。

○ 上級生が下級生を思いやる姿が育っている
○ 下級生が上級生を目標に成長している
○ 学校全体に安心感のある雰囲気が生まれている
○ 多くの教職員が関わり、きめ細かな支援につながっている

これらの成果を市内全体の小中一貫教育にも生かしながら、子どもたちのよりよい成長を支えていきます。また、義務教育学校のよさを家庭や地域の皆様に継続して発信していきます。

## 4　家庭・地域とともに育てる、これからの時代の力

子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。特に、スマートフォンや SNS の利用については、小学生・中学生共通の課題となっています。

○ SNS 上での言葉の行き違いや人間関係のトラブル
○ 長時間利用による生活リズムの乱れ
○ 情報を正しく判断し、安全に活用する力の必要性

学校では、情報モラルについて学ぶ機会を設け、子どもたちが適切に活用する力を育てます。ご家庭でも、利用時間や約束について話し合ったり、困った時に相談できる関係づくりを進めたりするなど、子どもたちの成長を見守るご協力をお願いいたします。また、学校で保護者の方を対象にした研修や講座等がある際にはぜひご参加ください。地域の皆様にも、日頃の声かけや見守りなどを通して、子どもたちの健やかな成長を支えていただければ幸いです。

今年度も、学校・家庭・地域が力を合わせ、９年間の学びのつながりの中で、子どもたち一人ひとりが安心して成長できる学校づくりを進めてまいります。

**新庄市の小中一貫教育について、ご意見等ございましたら下記にお寄せ下さい。**

**新庄市教育委員会**
**施設設備等のことなど　・・　教育総務課　（直通２３－５００４）**
**小中一貫教育の内容など　・・　学校教育課　（直通２３－５００３）**